

010・なる先輩と夢のなか

〈シチュエーション〉

トラック09から少し経った後。

セックスが終わった後の主人公と鳴瀬が、鳴瀬のベッドで話すシチュエーション。
場所移動はなし。ずっとベッドで過ごす。

SE1 鳴瀬がベッドで寝転がる音

【最初から最後まで流す】

【だんだん奥から手前に近づいてくる】

● 右 30センチ

■ 主人公と一緒に自室のベッドに入り、主人公の右側に寝ている。

今日のセックスで心満たされており、うっとり夢見心地で上機嫌。だが、少し眠い。

主人公に『自分も同じ夢を見ていた。二人揃って同じ夢を見ていた原因はおそらく、図書館の本である』と打ち明けられたところ

「あまあまに、幸せそうに。」

だが、ちょっと眠そうに。『この本Ⅱ主人公が今手に持っている、図書館で見つけたおまじないの本』『おまじないパワーⅡ本に乗っていたおまじないの不思議な力』

えゝ何（なに）……？ ♡

じゃあさあ、この本のおまじないパワーで、二人でおんなじ夢見てたって事ゝ？ ♡
あるんだあ。そんな事 ♡

〈主人公〉

「……そう、みたいです ♡

っていつても、ちょっと信じられないかもしれないですけど…… ♡

鳴瀬、主人公の方に頭を向ける。正面の位置になる。

● 正面 30センチ

■ 顔を主人公の方に向けて話す。主人公が不安そうにしているので、安心させたい

「優しく、ちょっと真面目に。

『最初から、全く疑っていないよ。信じているよ』という感じで

ううん？ 信じてるよ ♡

【あまあまに、話の要点をまとめる】

つまりい。ここにいるあたしも。君が見た夢の中のあたしも♡

ほんとは全部同一人物で♡

君にやられて喜んでたって事でしょお？♡

【上機嫌で。『楽しい♡楽しい』】

ふふ♡ 楽（たの）ちいファンタジーだね♡

〈主人公〉

「……先輩……♡」

SE 2 鳴瀬がベッドで寝転がる音2

【最初から最後まで流す】

【だんだん奥から手前に近づいてくる】

鳴瀬、少し近づく。

● 正面 15センチ

■ にやにやと嬉しそうにしながら、主人公が見せてくれた例のおまじないの本を手にとってネタバラシをする。

鳴瀬が主人公の話を最初から全く疑わなかったのは、そもそも自分も同じようにおまじないを試していたからである。

もし、一人だけおまじないを試したなら同時に夢を見る事はないだろう。

だが、二人同時に試した事で、お互いに同じ夢を見ていたのではないかと、鳴瀬は考えている
「にやにやと嬉しそうに。いよいよネタバレシをするので。『カノ』彼女」

でもさあ……？ 実は、先にこの本を見つけたのはあたしで。

同じ時位（ときくらい）におまじないを試したから、同じタイミングで同じ夢を見られるようになってた。

『カノともっと仲良くなりたくい』って思ってたのは、二人共（とも）一緒だった♡
……なんて可能性については、考えた事あった？♡」

〈主人公〉

「……！♡」

● 正面 15センチ

「あまあまに、嬉しそうに。とても幸せな気分なので」

なうんてね♡

ふふふ♡」

ここでフェードアウトして終了。